

あいち農産物生産流通レポート

平成28年2月号

情報サロン		
・「あいちの抹茶」のPR活動について	(園芸農産課)	1
地域トピックス		
・豊田市足助地域に獣肉加工処理および直売施設が完成!	(豊田加茂農林水産事務所)	2
東日本情報		
・「在京流通行政連絡会でいちご王国・栃木県を視察」	(東京事務所)	3
西日本情報		
・JAあいち経済連が設置したいちごパッキングセンターについて	(園芸農産課)	5
フラワーページ		
・いけばな向け花材に関するセミナーが開催される	(東京事務所)	6
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し		9
花き		
・切花・鉢花の2月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2015年11月)		25
関連指数		26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ (03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課 (052)-954-6421

「あいちの抹茶」のPR活動について

愛知県はてん茶(抹茶の原料)の生産量で全国第2位を誇ります。その「あいちの抹茶」のブランド力を向上させるため、イベントへの出展等をとおして知名度向上を図っています。ここでは、平成27年11月19日から25日にナゴヤドームで開催されたドームやきものワールド2015の出展内容について紹介します。

1 石臼挽き体験

愛知県茶業連合会の茶生産者の方に御協力いただき、5日間で575名の方に体験していただきました。

抹茶はてん茶を石臼で挽いてつくりますが、ほとんどの方が初めての体験で、「一杯分の抹茶を挽くためにはかなりの時間と労力がかかり、抹茶の価値の高さが理解できた」という声が多くの方から聞かれました。

てん茶の大産地である西尾市周辺では、毎年石臼挽き体験が行われていますが、名古屋ではなかなか石臼に触れる機会がないようです。貴重な経験ができた多くの方に喜んでいただきました。



石臼挽き体験

2 点前体験

石臼挽き体験で挽いた抹茶を御自身で点てて飲んでいただきました。

体験後のアンケートでは、「おいしい」、「苦みが少なくまるやか」、「香りが良い」など、若い方からお年寄りの方まで好評で、皆様に「あいちの抹茶」のおいしさを知っていただけたようです。



知事も点前体験

3 茶育教室

期間中の土曜日と日曜日には小学生とその保護者の方を対象に、茶育(茶の食育)教室を開催し、2日間で114名の方に参加していただきました。

日頃からボランティアで茶育活動をされている今井肇さんと敏江さん御夫妻に講師を務めていただき、お茶の作法だけでなく、「おもいやり」、「感謝」、「物を大切に作る」という3つの「心」の重要性などを教わりました。

参加者が主人役と客役のペアになって、実際にお菓子やお茶を出しながら、楽しく学んでいただきました。

教室後のアンケートでは9割以上の参加者から「抹茶を魅力的に感じた」と回答していただきました。



茶育教室(奥:講師の今井肇さん)

4 最後に

今後も「あいちの抹茶」の良さを皆様に知っていただくため、各種イベントでのPRや、茶育活動に積極的に取り組むとともに、他産地に負けない高品質な茶生産を推進していきます。

豊田市足助地域に獣肉加工処理および直売施設が完成！

平成 27 年度 6 次産業化ネットワーク活動交付金を活用し、獣肉加工処理施及び直売施設（（株）山恵）が完成しました。

1 事業の目的

捕獲した猪や鹿の解体、精肉加工及び販売、肉まんなどの加工商品の開発及び販売を通して、獣肉の利活用を図る。

2 事業の概要

事業主体 株式会社 山恵(加工処理及び直売等を目的として、平成 25 年 11 月に設立。)

整備内容 獣肉加工処理施および直売施設

鉄骨平屋建て 1 棟 80.19 m²

解体設備、加工処理設備、冷凍・冷蔵設備、売店設備。

取扱数量 目標処理頭数：年間 猪 270 頭 鹿 10 頭（精肉加工処理量 年間 7 t）

目標販売数：年間 肉まん 8,400 個、猪肉加工品「ししフランク」7,200 本

3 事業の特徴

豊田市内の各地域の商工会や地元のスーパー、猟友会、加工事業者と連携し、地域ぐるみで、捕獲、解体、加工及び販売を行っていくのが特徴です。

また、肉まんなどの加工品は、足助地区の「香嵐溪もみじまつり」（もみじ祭り期間中の観光客は 70 万人）での販売を予定しており、好調な売れ行きが期待されています。

施設の所在地：愛知県豊田市新盛町菅田 20 番地の 1

（国道 153 号線「新盛」交差点を北に入っすぐにあります。）

問い合わせ先：0 5 6 5 - 9 8 - 0 8 3 6（担当：鈴木）

直売所は不定休のため、あらかじめお問い合わせください。



【施設外観】



【しし肉まん】



【ししフランク】

「在京流通行政連絡会でいちご王国・栃木県を視察」

首都圏に事務所を有する 21 県の流通担当者と組織する在京流通行政連絡会では、流通行政に係る各県相互の情報交換並びに先進地視察等を実施しています。同会の平成 27 年度の視察研修として、平成 28 年 1 月 27 日(水)に栃木県のいちご研究所といちご生産者を視察しましたので、その結果を報告します。

■ 栃木県農業試験場いちご研究所の視察

栃木県農業試験場いちご研究所は、平成 20 年に栃木県農業総合試験場栃木分場いちご研究室の機能を拡充強化して設置された、全国唯一のいちご専門研究機関です。同研究所では、「とちおとめ」や「栃木 i27 号(スカイベリー)」に続く新品種の育種、新技術の開発に取り組むほか、いちごに関する経営分析、流通・消費の調査分析、産地向けの研修や実需者との交流促進など、いちごの生産から販売までの総合的な試験研究が行われています。

いちごの育種においては品種登録までに 8 年程度必要であり、第 1 段階の実生選抜では約 1 万粒の選抜を行い、更に系統を選抜しながら最終的に 1 品種を育種していくとのこと。対病性・多収性に加えて食味や粒の大きさ、また色や輸送性など様々な要素について、実需者や生産者の要求を満たす新品種を育成すべく選抜を進めているところとのことでした。

■ いちご生産者の視察

視察を行った生産者においては、水田 3 ha といちご 58a の複合経営で、家族労力が 5 人、収穫時に 2 人の雇用労力を導入することによって、品種内訳は「とちおとめ」が 49a、「スカイベリー」が 9.7a となっていました。



いちご研究所の外観



育種ほ場の様子



ほ場視察の様子

栽培方法は土耕栽培でしたが、現地案内をお願いした栃木県の普及指導員からは「栃木県では土耕栽培が一般的で、高設栽培は生産面積の5%程度とごく一部。高設栽培は導入コストが高いため、連作障害を回避しながら、土耕栽培で高収量生産を実現していくという方向性で取り組む生産者が多い」との話がありました。

また、平成27年9月の関東・東北豪雨では、当該ほ場においても畝肩まで浸水するなど被害があり、生育の遅れが懸念されましたが、その後は天候にも恵まれ、小玉傾向ではあるものの大きな被害は無く生産できているとのことでした。



収穫作業の様子

■ ブランドいちご「スカイベリー」

本視察では、大粒・良食味のブランドいちごである「スカイベリー」の話題が多く上がりました。この「スカイベリー」は、品種名は「栃木i27号」といい、「スカイベリー」は商標名となります。

このため、「スカイベリー」の商標使用においては県の使用許可が必要ですが、粒の大きさや糖度などの品質基準や栽培基準等に係る使用要件は設けていないとのことでした。

いちご研究所の担当者によると、現時点での栃木県内の「スカイベリー」の生産面積は18haとのことですが、「厳寒期の着色不良などがあり、規格品率を高めるためには高い技術が求められる“くせのある品種”」とのことで、栽培技術の向上が課題とされているとのことでした。また、視察を行った農家においては、『「スカイベリー」を既存の「とちおとめ」と全量置き換えることは考えていない。大粒用途として位置づけ一部導入にとどめている』といった声が聞かれました。

いちご生産においては福岡県の「あまおう」や静岡県「紅ほっぺ」、また本県が育種した「ゆめのか」など、主要産地それぞれがオリジナル品種を前面にしのぎを削っている状況ですが、いちご生産量全国第1位である栃木県の威信をかけた「スカイベリー」の動向に、今後とも注目したいと思います。

JAあいち経済連が設置したいちごパッキングセンターについて

1 設置の目的

本県のいちごは、産出額が全国第7位（平成26年）と、全国有数の産地です。しかし、高齢化・後継者不足により、生産者数及び生産量は減少傾向で、今後の生産規模の維持が課題となっています。

いちご栽培では、生産者は収穫、選別、出荷の作業をほぼ毎日行っており、その期間は半年以上に及びます。

特に、選別・出荷作業は、総労働時間の約4割を占め、生産者にとって大きな負担であるとともに、経営規模を拡大する上で、阻害要因の一つにもなっています。

一方で、いちごに対する実需者側の要望は多様化しており、ニーズに対応した商品を提供することが必要となっています。

こうした情勢を背景に、数年の試行を経て、平成27年2月に、JAあいち経済連は安城市にパッキングセンター（以下、「PC」という。）を設置し、パッキング作業を行う業務を開始しました。

2 施設の概要

施設の種類 集出荷貯蔵施設（960㎡）
作業室、保冷库、予保冷库、事務室等
平成26年度強い農業づくり交付金を活用
対象地域 西三河地域
取扱数量 147トン（平成26年産）



3 PCにおける作業工程

生産者は、朝、専用コンテナに収穫したいちごを、当日中にPCに持ち込みます。PCから遠い地域では、生産者は地域の集荷場にいちごを持ち込み、PCへの運搬を委託しています。

いちごは、コンテナの状態を保冷库に入れて品温を下げた後、出荷先の要望に併せた商品にパッキング作業をしていきます。商品管理を徹底するため、いちごは生産者単位で扱われます。

いちごのパッキング作業は技術の習熟が必要ですが、PCでは職員に対して研修を行い、技術を習得させています。

パッキングした製品は、予保冷库で保管し、契約先等へ出荷されます。

4 PCに期待される効果

生産者は、パッキングをPCに任せることにより生じた時間を他の作業などに充てることができます。

販売面では、PCにおいてロットをまとめることにより、品種、規格（重量・パッキング形状）、数量など、実需者の要望に応じた対応が可能となり、販売競争力の強化、農家経営の改善も期待されます。

今後は、PCの利用を前提とした生産経営スタイルが確立され、いちご産地の更なる発展につながることが期待されます。

いけばな向け花材に関するセミナーが開催される

はじめに

平成 28 年 1 月 20 日（水）に東京都千代田区の手町サンスカイルームで、農林水産省の平成 27 年度事業「少量花材安定供給体制構築支援事業」の一環として、いけばな向け花材に関するセミナーが開催されました。セミナーでは、同事業により実施されたいけばなに関するアンケート結果について報告されたほか、生産者へのレクチャーとして、いけばなの 4 流派から講師を招き、花材をどのように使用するかのデモンストレーションがされました。

いけばなに関するアンケート結果

花き産地へのアンケートでは、出荷する花材がいけばなとして利用されていることを認識して出荷している産地は 61%に止まるほか、いけばな利用の認識のある産地において、どの流派で使用されているのかを認識している産地は 13.8%のみとなっており、どのような花材がいけばな向け花材となるのか、流派から産地への情報発信が必要であるという状況が浮き彫りになりました。

流派へのアンケートでは、花材の種類が豊富になったとの認識が示される一方、欲しい花材が手に入らなくなったとする声もあり、花材のバラエティが豊かになる中、特定の品目が手に入りにくい状況があることが推測されました。

また、不足している花材については、カキツバタやハス、コウホネなどの水生の花材が多く挙げられていました。



アンケート結果を報告する日本大学腰岡教授

順位	花材名	
	流派	生花店
1	ハス	カキツバタ
2	カキツバタ	コウホネ
3	スイレン	スイレン
4	コウホネ	ササユリ
5	ショウブ	ナツハゼ

アンケート結果：入手が困難な花材

各流派によるデモンストレーション

デモンストレーションでは、「池坊」、「小原流」、「草月会」、「龍生派」の 4 流派からそれぞれ講師を招き、スイセンやツバキ、ハランなどを用いて作品を作成しながら、いけばな向け花材としての規格や草姿に係る解説がされました。



デモンストレーションの様子

花をいける際の考え方やその向き合い方は、植物の理想の姿の追求とその再現、また植物を用いた自己表現であったりと流派により様々であり、その生け方も流派により異なる技術が用いられていました。

花材については、「生産者において規格外として破棄される生産物も、いけばなでは花材として立派に成り立つものがある」として、豊かな表現を実現していくために、規格化された花材よりも、規格に縛られない個性的な花材を提供して欲しい、といった声があったほか、手に入らない規格の花材が増え、実現できない作品が増えることでその技術が消失し、いけばな文化自体が衰退していくことを懸念する声などが聞かれました。



展示された作品

■ さいごに

いけばなの花材においては、少量・多品目かつ個性的な商品を求める声が多くあり、規格化された商品による大量流通とは異なる生産・流通システムが必要であると考えられます。また、いけばなで求められる規格・草姿は現在の切り花規格と整合しないものもあり、いけばな向きの特殊な規格についても検討が求められています。

本事業ではその成果として、平成28年3月を目途に「いけばな花材流通マニュアル」及びホームページを立ち上げる予定とのことですが、これにより産地・流通事業者・流派それぞれの情報共有が促進されることを期待したいと思います。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地
		うち愛知産		うち愛知産	
27年実績	6,236	1,961 (31%)	407	311	愛知 (31%) 北海道 (21%) 鳥取 (20%) 長野 (10%)
28年見通し	6,400	2,000 (31%)	390	290	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>昨年からの暖秋、暖冬の影響から各産地は前進出荷となっているため、2月前半は入荷量多く、価格安の展開であるが、中旬から3月いっぱい端境となり、例年を下回る入荷となり、高値安定の相場展開が予想される。輸入物は、円安等の影響により日本向けの出荷量が少なく、高値での出回りが予想される。春以降の作付けは、各産地ともほぼ横這いで、出荷は今後の天候次第で増減する見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>産地間、個人間の品質格差の是正をお願いしたい。特に、秋と春の気温上昇期は劣化が早いので、鮮度保持フィルムや予冷設備の利用、適期収穫をお願いしたい。 安定販売や価格維持の為に、出荷計画を出してもらい、卸売市場への提供をお願いしたい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
27年実績	2,120	827 (39%)	428	373	静岡 (44%) 福岡 (18%) 茨城 (7%)
28年見通し	2,200	-	300	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県が約4割を占め、香川、埼玉がそれに続く。本県の入荷量は3月にピークを迎える。本県は気温高の影響で1ヶ月程度の前進出荷傾向にあり、出荷量は前年より減少する見込み。香川、埼玉は生育良好で順調出荷が期待できる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>			<p>ブロッコリーは栄養価の高い食材として消費者の認知度も高く、量販店の目玉商品となる商材である。 本県産は数量があり、品質面でも高い評価を受けている。今後も「愛知県産ブロッコリー」として安定した入荷量と精度の高い産地情報提供をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し

名古屋市中央卸売市場

1月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	23年	29,898	230	229	238	231	愛知 29%
	24年	32,169	237	233	231	246	北海道 20%
	25年	31,304	202	220	194	196	鹿児島 7%
	26年	31,144	216	220	212	218	静岡 6%
	27年	31,348	227	227	227	229	
	5カ年平均	31,173	222	-	-	-	
	28年見通し	30,900	214	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、北海道が中心。暖冬による前進出荷により、キャベツ、レタス等の葉菜類は端境期を迎え数は少なくなる。それ以外も前年並。品質は良く大玉傾向が多い。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。							
だいこん	23年	1,864	89	88	99	79	静岡 50%
	24年	2,131	106	99	112	110	徳島 23%
	25年	1,651	94	109	88	90	愛知 9%
	26年	1,879	84	77	90	89	神奈川 6%
	27年	1,755	83	92	78	85	
	5カ年平均	1,856	92	93	94	91	
	28年見通し	1,700	70	65	70	75	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は静岡が中心。愛知は終了を迎える。天候良く、前進傾向であり、玉も大玉傾向。2月下旬から3月上旬にかけて、前進傾向による端境期が懸念される。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	23年	2,140	136	126	142	144	愛知 92%
	24年	2,017	124	115	128	134	鹿児島 4%
	25年	1,984	125	118	127	135	熊本 3%
	26年	1,890	129	112	135	151	長崎 1%
	27年	2,055	73	69	75	78	
	5カ年平均	2,017	117	108	121	128	
	28年見通し	2,000	110	100	110	120	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知が中心。暖冬で肥大が進み、特に愛知は2L、Lサイズ中心となる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

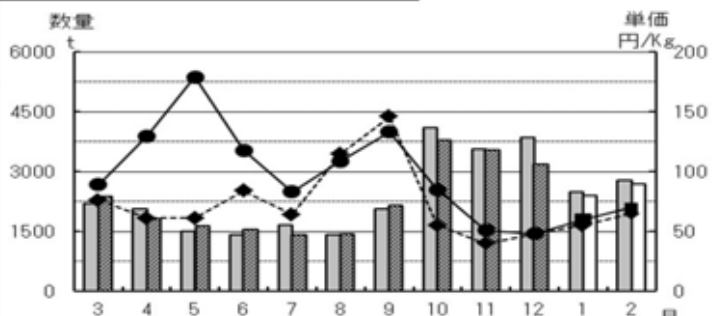
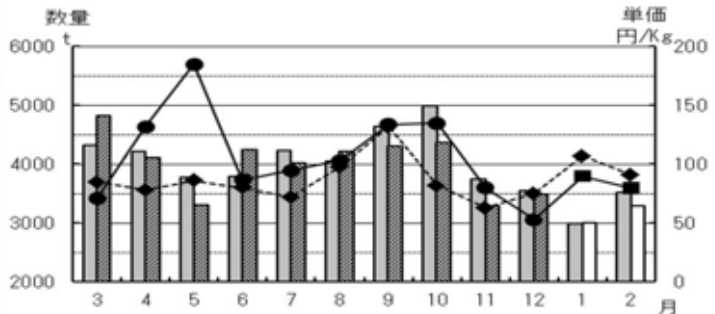
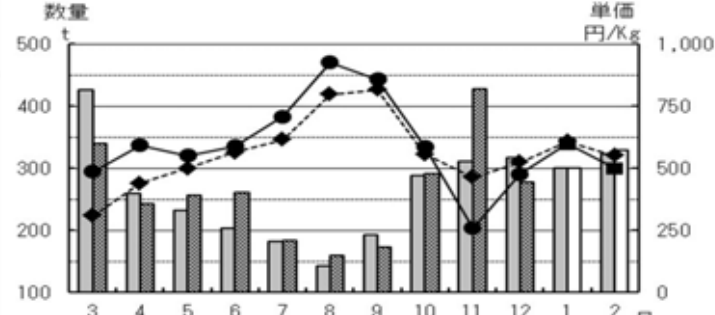
1月28日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	23年	117,364	240	239	245	237	千葉 17% 茨城 13% 北海道 12% 愛知 11%
	24年	123,066	257	248	250	274	
	25年	119,361	222	232	210	225	
	26年	119,763	236	226	244	265	
	27年	119,044	246	243	246	249	
	5ヵ年平均	119,720	240	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	120,000	240	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 t 前年数量 本年数量 前年単価 本年単価 円/kg</p>				
<p>関東産地からの入荷が中心で、果菜類は西南暖地が増え、土物類は北海道からの入荷となる。年内の前進出荷と冷え込みから1月は初荷以降入荷量が伸び悩んだが、回復傾向にある。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							
だいこん	23年	11,574	87	85	100	76	神奈川 54% 千葉 32% 徳島 6% 鹿児島 4%
	24年	11,593	120	110	127	125	
	25年	11,672	100	110	94	96	
	26年	12,056	89	79	114	74	
	27年	12,073	92	97	85	94	
	5ヵ年平均	11,794	97	96	104	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	11,800	92	95	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 t 前年数量 本年数量 前年単価 本年単価 円/kg</p>				
<p>神奈川、千葉からの入荷が中心となる。先月に引き続き神奈川、千葉は気温高の影響で前進出荷傾向で上旬は端境になる模様。神奈川は春大根が中旬から、千葉はトンネル栽培が上旬から出荷見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。</p>							
にんじん	23年	6,408	164	158	174	162	千葉 80% 埼玉 6% 茨城 6% 愛知 3%
	24年	6,935	122	114	123	132	
	25年	6,329	135	136	132	136	
	26年	6,040	154	136	164	171	
	27年	6,657	85	84	84	88	
	5ヵ年平均	6,474	131	125	134	137	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,800	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 t 前年数量 本年数量 前年単価 本年単価 円/kg</p>				
<p>千葉を中心に関東産地からの入荷が中心となる。千葉は先月に引き続き気温高の影響で生育前進傾向。病害虫の発生少なく生育良好で順調出荷が期待できる。埼玉は一部生育不良がみられる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	23年	2,900	78	68	85	86	兵庫 36%
	24年	3,237	85	77	88	95	茨城 31%
	25年	3,058	79	75	80	85	愛知 29%
	26年	2,635	71	68	78	68	宮崎 2%
	27年	2,778	65	66	62	71	
さい	5カ年平均	2,922	76	71	79	82	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,700	70	60	70	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 単価 円/kg</p>				
産地は兵庫、愛知、茨城が中心。天候良いため、4L、5Lサイズの大玉傾向であるが、前進傾向であるため数は少ない。兵庫は前半で、茨城の秋冬物は中旬で終了の見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
キャベツ	23年	2,877	129	126	135	125	愛知 92%
	24年	3,402	141	145	132	148	熊本 2%
	25年	3,420	105	115	94	110	三重 2%
	26年	2,978	109	120	107	105	茨城 2%
	27年	3,519	91	91	95	96	
べ	5カ年平均	3,239	115	119	112	117	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,300	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 単価 円/kg</p>				
産地は愛知が中心。生育は良好。前進傾向ではあるが、数量が減っていくのは3月ぐらいからであり、2月中はある程度出荷が見込まれるが、数量は例年平均ほどになると思われる。 入荷量、価格ともに前年をかなり下回る見込み。							
ほうれんそう	23年	439	398	488	405	314	愛知 71%
	24年	341	542	593	580	511	茨城 14%
	25年	398	406	431	380	452	群馬 3%
	26年	357	412	413	418	443	徳島 3%
	27年	324	551	561	587	544	
ん	5カ年平均	372	455	493	466	445	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	28年見通し	330	500	500	500	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 単価 円/kg</p>				
産地は愛知が中心で、一部茨城等からも入る。暖冬で順調な生育であるが、あまりにも暖かいため、品質や入荷してからの日持ちが悪い。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%)			
				上旬	中旬	下旬	
ほうきさい	23年	12,562	68	57	79	71	茨城 67%
	24年	13,409	74	61	72	92	群馬 18%
	25年	12,660	74	72	74	75	兵庫 10%
	26年	13,019	71	68	81	60	埼玉 3%
	27年	11,930	49	53	45	48	
	5ヵ年平均	12,716	68	62	71	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	12,200	50	50	55	45	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、群馬、兵庫からの入荷が中心となる。各産地とも気温高の影響で生育前進傾向。生育良好で大玉傾向のため順調出荷が期待できる。兵庫は下旬に量がまとまってくる見込み。</p> <p>入荷量、価格ともに前年をわずかに上回る見込み。</p>					<p>ほうきさいの月別数量と単価の推移。数量はトン、単価は円/kg。数量は3月約10000トン、4月約6000トン、5月約12000トン、6月約6000トン、7月約6000トン、8月約6000トン、9月約10000トン、10月約15000トン、11月約12000トン、12月約13000トン、1月約12000トン、2月約12000トン。単価は3月約100円/kg、4月約120円/kg、5月約140円/kg、6月約100円/kg、7月約100円/kg、8月約100円/kg、9月約140円/kg、10月約160円/kg、11月約140円/kg、12月約140円/kg、1月約100円/kg、2月約100円/kg。</p>
キャベツ	23年	13,583	128	134	130	120	愛知 67%
	24年	15,072	139	135	128	154	千葉 15%
	25年	14,005	109	117	95	115	神奈川 13%
	26年	13,804	113	115	110	111	茨城 1%
	27年	14,711	94	96	94	92	
	5ヵ年平均	14,235	117	119	111	119	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	15,000	90	80	90	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、千葉、神奈川からの入荷が中心となる。各産地とも気温高の影響で生育前進傾向。冷え込みで生育が停滞することもあるが、生育良好なことから順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					<p>キャベツの月別数量と単価の推移。数量はトン、単価は円/kg。数量は3月約18000トン、4月約19000トン、5月約18000トン、6月約16000トン、7月約16000トン、8月約16000トン、9月約16000トン、10月約18000トン、11月約14000トン、12月約14000トン、1月約14000トン、2月約14000トン。単価は3月約100円/kg、4月約120円/kg、5月約140円/kg、6月約100円/kg、7月約100円/kg、8月約100円/kg、9月約140円/kg、10月約160円/kg、11月約140円/kg、12月約140円/kg、1月約100円/kg、2月約100円/kg。</p>
ほうれんそう	23年	1,820	413	502	419	327	群馬 25%
	24年	1,484	514	634	498	421	茨城 25%
	25年	1,831	362	386	310	398	埼玉 21%
	26年	1,476	483	412	553	514	千葉 17%
	27年	1,688	477	462	503	467	
	5ヵ年平均	1,660	445	476	450	421	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,750	467	500	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。群馬は降雪の影響で生育停滞がみられるが、他産地は気温高の影響から生育は前進傾向で概ね良好。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					<p>ほうれんそうの月別数量と単価の推移。数量はトン、単価は円/kg。数量は3月約1500トン、4月約1200トン、5月約1300トン、6月約1300トン、7月約1300トン、8月約1300トン、9月約1800トン、10月約1800トン、11月約1800トン、12月約1800トン、1月約1800トン、2月約1800トン。単価は3月約400円/kg、4月約500円/kg、5月約500円/kg、6月約500円/kg、7月約500円/kg、8月約500円/kg、9月約800円/kg、10月約800円/kg、11月約800円/kg、12月約800円/kg、1月約800円/kg、2月約800円/kg。</p>

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	23年	856	423	401	444	433	静岡 23%
	24年	945	411	385	432	437	大分 22%
	25年	916	329	339	321	343	愛知 18%
	26年	827	405	347	491	415	鳥取 9%
	27年	944	341	343	346	348	
ぎ	5ヵ年平均	898	381	363	404	394	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	950	350	300	350	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は、愛知、静岡、鳥取が中心。愛知産は、1月中は順調。2月に入っても変わらないと思われるが、天候次第。静岡は、2L、Lサイズ傾向で数は多め。鳥取は、天候次第ではあるが降雪の影響が懸念される。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに上回る見込み。					
レ	23年	1,211	303	343	312	255	兵庫 39%
	24年	1,130	417	384	403	475	熊本 15%
	25年	1,378	292	358	252	269	静岡 13%
	26年	1,529	226	228	213	241	愛知 13%
	27年	1,620	285	275	295	286	
ス	5ヵ年平均	1,374	298	311	289	298	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,300	300	350	300	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は、兵庫、静岡、愛知、熊本が中心。暖冬のため、1月は前進傾向であり、2月中旬から下旬で少なくなるのでは。そのため、2月全体では少なくなる見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					
き	23年	1,199	315	326	305	313	愛知 56%
	24年	1,088	422	432	390	456	宮崎 16%
	25年	1,168	298	320	277	328	高知 15%
	26年	1,187	336	302	357	384	鹿児島 12%
	27年	1,152	365	424	358	325	
う	5ヵ年平均	1,159	346	359	337	360	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,180	385	400	380	380	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、九州、四国地方が中心となる。全体的な生育不良が続いており、細物が多い。また、数も減少傾向が続いているが、細物のため価格に反映していない。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや上回る見込み。					

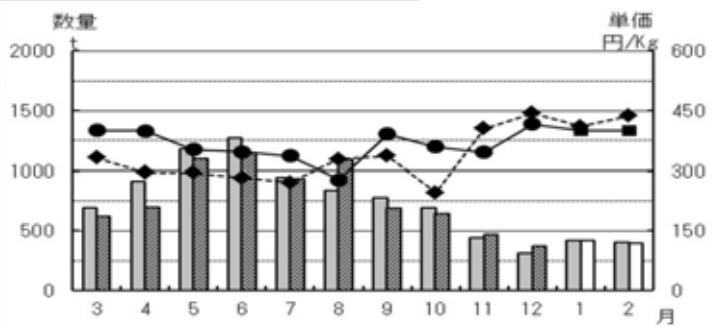
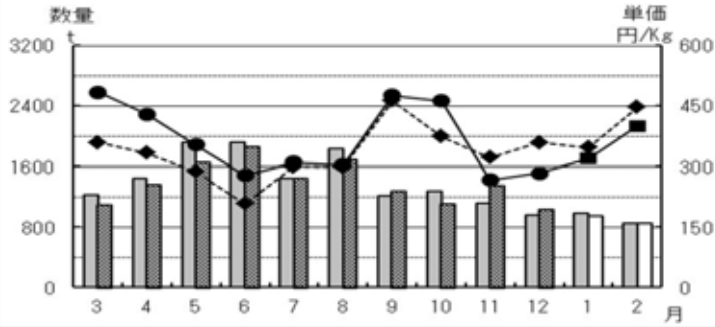
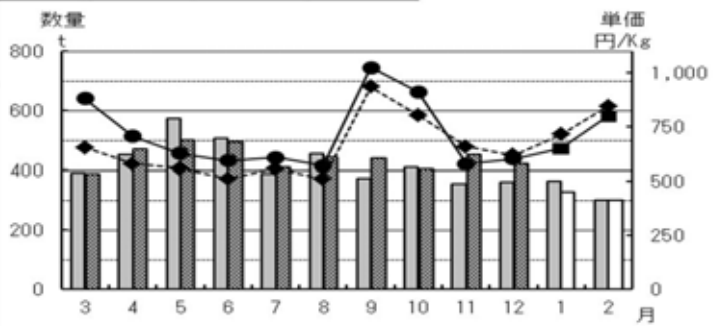
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	4,369	303	272	340	306	千葉 40%
	24年	4,800	279	252	281	313	埼玉 26%
	25年	4,599	265	241	237	261	群馬 13%
	26年	4,224	363	273	483	334	茨城 11%
	27年	4,707	248	241	235	273	
	5カ年平均	4,540	290	255	311	297	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,800	260	260	260	260	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>前月に続き千葉、埼玉など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも生育は概ね良好。千葉、埼玉は一部病害発生がみられるが軽微。群馬は降雪で収穫作業が遅れている。茨城は肥大良好。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は安かった前年をやや上回る見込み。</p>					
しそ	23年	6,348	275	325	280	219	静岡 33%
	24年	6,221	377	359	363	414	香川 12%
	25年	6,208	278	355	231	246	茨城 12%
	26年	7,098	216	221	207	219	兵庫 9%
	27年	6,470	282	279	295	271	
	5カ年平均	6,469	284	305	274	271	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,500	273	270	280	270	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>静岡、香川、茨城、兵庫からの入荷が中心となる。静岡は大玉傾向からL中心の玉流れに落ち着いてきた。兵庫は10月下旬に定植作業が重なり、上旬に増量の模様。茨城は生育は概ね良好。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
きゅうり	23年	4,939	334	338	333	331	宮崎 32%
	24年	4,836	435	439	398	466	千葉 20%
	25年	4,932	313	325	283	332	高知 18%
	26年	4,496	370	313	400	409	群馬 12%
	27年	4,701	402	465	384	356	
	5カ年平均	4,781	370	376	358	378	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,700	410	450	400	380	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>宮崎、千葉、高知、群馬からの入荷が中心となる。宮崎、高知の生育は概ね良好。千葉は気温高の影響で強樹勢がみられたが、気温低下に伴い回復傾向にある。群馬は作付け減。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	23年	542	343	349	339	340	熊本 53%
	24年	472	383	400	386	374	愛知 41%
	25年	429	371	408	365	355	高知 6%
	26年	415	359	332	367	389	福岡 1%
	27年	406	437	451	448	417	
	5ヵ年平均	453	376	386	378	373	
28年見通し	400	400	400	400	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本、愛知が中心となる。出荷は順調すぎるくらい順調。成り疲れが懸念される。気温の低下に伴い受精少なくなり、量も少なくなる可能性もある。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	23年	896	296	271	296	329	熊本 53%
	24年	853	436	364	397	564	愛知 27%
	25年	829	379	343	374	429	三重 10%
	26年	870	370	337	362	423	岐阜 6%
	27年	856	447	402	450	493	
	5ヵ年平均	861	385	343	375	446	
28年見通し	850	400	400	400	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、熊本、愛知中心。熊本は前進出荷による成り疲れで、着花少なく、M、Sサイズ中心の小玉傾向。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	23年	237	687	676	696	691	熊本 59%
	24年	248	850	778	798	1,016	愛知 30%
	25年	285	739	741	745	744	和歌山 8%
	26年	294	733	670	753	786	宮崎 3%
	27年	301	847	793	868	872	
	5ヵ年平均	273	773	733	775	822	
28年見通し	300	800	750	830	820	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>トマトと同じく、産地は熊本、愛知が中心。現在は高気温で前進傾向も、今後は冷え込みによる着花不良で数は少なくなる見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	23年	2,033	404	387	398	429	高知 64%
	24年	2,137	445	429	460	450	福岡 16%
	25年	1,975	413	420	394	425	熊本 8%
	26年	1,967	432	376	471	471	佐賀 5%
	27年	1,894	503	566	508	445	
	5ヵ年平均	2,001	439	434	446	444	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,900	483	500	500	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡など西南暖地からの入荷が中心となる。高知は樹勢回復傾向にあり、今後の天候によるが順調出荷の見込み。福岡は低温と日照不足の影響で着果量が少なく推移。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	23年	5,105	333	317	327	357	熊本 34%
	24年	4,697	474	400	446	596	栃木 19%
	25年	4,723	409	378	394	457	愛知 12%
	26年	4,982	383	354	373	455	宮崎 5%
	27年	4,708	470	424	485	506	
	5ヵ年平均	4,843	412	373	403	472	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,700	417	450	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。熊本は年内前進出荷と11月日照不足の影響で着果量が少ない。栃木は年末からの好天で生育は回復傾向。愛知は年内前進出荷と低温の影響で少なくなる見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	23年	954	672	656	682	681	熊本 37%
	24年	964	886	807	816	1,067	愛知 20%
	25年	1,089	756	752	763	754	宮崎 17%
	26年	1,251	704	629	735	780	千葉 8%
	27年	1,161	845	791	881	865	
	5ヵ年平均	1,084	771	725	777	827	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,160	867	800	900	900	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、宮崎からの入荷が中心となる。熊本は11月の日照不足の影響で着果量が少ないが作付け面積増。愛知は低温の影響もあり出荷量はやや少なくなる見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をわずかに上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	362	623	643	619	608	宮崎 46%
	24年	338	790	812	713	814	鹿児島 41%
	25年	378	652	734	640	615	高知 12%
	26年	364	666	652	658	679	
	27年	405	719	724	727	710	
マ	5カ年平均	369	689	712	672	684	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	28年見通し	360	690	700	700	680	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は鹿児島、宮崎、高知が中心。前進傾向で数は入ってきているが、今後は冷え込みで停滞気味になると思われる。2月全体では数は少なめの予想。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	23年	2,622	168	153	169	187	鹿児島 54%
	24年	2,921	138	135	142	135	北海道 42%
	25年	2,642	106	105	107	107	長崎 4%
	26年	2,722	119	113	116	125	
	27年	3,120	130	120	129	137	
い	5カ年平均	2,806	132	125	133	138	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,000	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道は貯蔵物の計画出荷と鹿児島中心。鹿児島の本土物は生育が良くなく、M、Lサイズ中心。逆に離島物は生育順調。長崎も生育良くなく出荷量が少ない。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
たまねぎ	23年	3,980	129	134	138	116	北海道 93%
	24年	5,205	94	95	98	101	静岡 6%
	25年	5,497	86	92	91	87	愛知 1%
	26年	5,072	126	139	134	135	中国 1%
	27年	4,999	102	101	103	108	
ね	5カ年平均	4,951	106	111	111	109	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	28年見通し	5,500	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道中心。静岡の新玉も増える。暖冬の影響で生育順調、静岡からも多く入り数は多い。そのため、引き合いは弱い。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	1,251	634	661	622	617	宮崎 43%
	24年	1,217	800	822	695	862	高知 21%
	25年	1,227	654	765	608	597	鹿児島 18%
	26年	1,288	671	666	667	681	茨城 17%
	27年	1,295	730	751	730	704	
マン	5カ年平均	1,256	697	732	665	692	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,300	680	700	670	670	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>西南暖地と茨城からの入荷が中心となる。天候の影響を受けやすいが、宮崎は生育良好で安定出荷の見込み。高知は生育回復傾向で中旬には増量見込み。茨城は生育は概ね良好。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ばいしょ	23年	7,855	156	147	159	166	北海道 59%
	24年	8,735	124	119	126	127	鹿児島 30%
	25年	8,239	94	98	95	90	長崎 11%
	26年	8,893	110	105	110	118	
	27年	8,251	115	107	114	127	
いしょ	5カ年平均	8,395	119	115	120	125	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	28年見通し	8,200	115	115	115	115	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道、鹿児島、長崎からの入荷がほとんどを占める。北海道はLサイズ中心で前年並出荷の見込み。鹿児島、長崎は生育期の干ばつの影響で小玉傾向の見込み。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					
たまねぎ	23年	8,437	143	142	143	145	北海道 84%
	24年	10,208	100	96	102	105	静岡 8%
	25年	9,453	98	92	99	103	中国 3%
	26年	10,028	145	144	146	144	長崎 2%
	27年	10,546	112	110	111	117	
ねぎ	5カ年平均	9,734	119	116	120	122	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	28年見通し	10,600	115	105	115	125	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道を中心に静岡、長崎から入荷する。北海道はL大サイズ中心で前年より増量の見込み。静岡は前年は前進出荷したが、今年は平年並の出荷ペースの見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	23年	9,400	364	354	365	341	青森 22% フィリピン 14% 静岡 14% 愛知 13%
	24年	9,083	374	356	370	397	
	25年	8,942	344	324	339	362	
	26年	8,854	364	360	355	370	
	27年	8,543	383	370	392	385	
	5ヵ年平均	8,964	366	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,500	400	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国内の産地は青森、静岡、愛知が中心。かんきつ、りんご、いちごなどが入荷する。暖冬の影響により全体的に前進傾向。そのため、数は少ない。また、色つきが早いため、品質は良くない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
かんきつ	23年	4,082	302	296	317	300	静岡 29% 愛媛 22% 愛知 14% 和歌山 8%
	24年	4,606	259	263	262	256	
	25年	4,123	237	228	237	247	
	26年	4,352	240	240	227	258	
	27年	3,964	257	247	278	248	
	5ヵ年平均	4,225	259	255	264	262	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,200	270	270	270	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、静岡、愛媛が中心で愛知も続く。暖冬ではあるものの、不作傾向となっており、昨年と比べ2割ほど少ない。また、品質も良くなく、数の減少に比べ引き合いは弱い。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
いちご	23年	1,186	1,021	1,129	1,002	945	愛知 55% 熊本 25% 鹿児島 7% 佐賀 5%
	24年	793	1,418	1,443	1,418	1,385	
	25年	985	1,137	1,129	1,109	1,174	
	26年	946	1,218	1,285	1,260	1,120	
	27年	849	1,332	1,412	1,366	1,229	
	5ヵ年平均	952	1,206	1,263	1,210	1,151	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	900	1,250	1,200	1,250	1,300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本が中心。暖冬により前倒し傾向となっており、昨年ほどではないが数は少ない。色付きも早いため、小粒傾向。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	23年	34,582	400	392	403	408	静岡 19%
	24年	38,389	382	356	386	414	愛媛 16%
	25年	36,838	357	344	359	369	青森 19%
	26年	36,856	377	375	378	377	フィリピン 6%
	27年	36,226	410	457	385	405	
	5ヵ年平均	36,578	385	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	35,500	420	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
りんご、みかん、いちご中心に不知火などの晩柑類の入荷が本格化する。みかんは不作傾向の産地多く高値基調で推移する見込み。不知火は熊本、愛媛ともに前進傾向で下旬にかけて数量減が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。							
り ん ご	23年	6,309	232	234	232	230	青森 95%
	24年	5,434	351	341	353	361	長野 2%
	25年	6,594	241	244	242	237	山形 2%
	26年	5,755	291	293	289	292	秋田 1%
	27年	7,237	282	270	278	277	
	5ヵ年平均	6,266	277	274	276	276	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,900	290	290	290	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
青森から「ふじ」の貯蔵もの中心に「王林」「ジョナゴールド」などが入荷する。輸出が一段落し、市場への出荷が本格化する。「ふじ」は産地在庫は前年よりやや少ない。「王林」「ジョナゴールド」は前年並みの入荷となる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。							
い ち ご	23年	4,756	1,068	1,119	1,084	1,005	栃木 38%
	24年	3,491	1,378	1,392	1,385	1,359	福岡 19%
	25年	4,229	1,152	1,152	1,126	1,181	茨城 11%
	26年	4,192	1,233	1,290	1,253	1,153	佐賀 10%
	27年	3,948	1,402	1,481	1,279	1,388	
	5ヵ年平均	4,123	1,235	1,276	1,215	1,204	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,000	1,400	1,500	1,300	1,300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
栃木中心に福岡、佐賀などから入荷。年明け以降の全国的な低温、曇天により栃木、福岡、佐賀ともに入荷量は減少しているが、天候が回復すれば中旬から下旬以降は順調な出荷が見込まれる。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。							

切花・鉢花の2月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 1月29日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	23年	1,701	47	
		24年	1,649	58	
		25年	1,476	57	
		26年	1,457	47	
		27年	1,365	60	
	5ヶ年平均	1,530	54		
28年見通し		1,400	50		
概要	<p>愛知、沖縄、三重等から入荷。1月の低温の影響が残り、前半はやや少なめか。業務の動きにもよるが、上物は強く、下物は重い展開が予想される。</p>				
小 ぎ	実 績	23年	1,121	32	
		24年	1,134	34	
		25年	1,120	24	
		26年	1,002	25	
		27年	1,136	38	
	5ヶ年平均	1,103	31		
28年見通し		1,100	35		
概要	<p>沖縄中心に入荷。1月後半の寒波で低温障害も発生し、品質に不安が残る。平年並の作付けとなっているが、天候などの状況によってはやや少なめに推移すると思われる。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	23年	1,036	38	
		24年	1,037	41	
		25年	1,017	37	
		26年	915	42	
		27年	873	46	
	5ヶ年平均	976	41		
28年見通し		900	42		
概要	<p>愛知を中心に和歌山、長野から入荷。11月から例年より気温が高く推移していたが、1月後半からの寒波で2月は出荷が落ちつく。業務等で安定単価で推移する見込み。</p>				
か す み	実 績	23年	167	61	
		24年	167	83	
		25年	162	67	
		26年	178	68	
		27年	199	68	
	5ヶ年平均	175	69		
28年見通し		170	68		
概要	<p>高知、和歌山、熊本からの入荷。1月から2月の影響により出荷は例年に比べ、少ない。業務需要に加え、中旬以降一般需要も活発で相場は強い展開になろう。ただ、大雪等天候が心配。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	23年	257	187	
		24年	249	224	
		25年	286	169	
		26年	239	205	
		27年	225	207	
	5ヶ年平均		251	197	
	28年見通し		230	200	
概要	<p>オリエンタルは高知、埼玉、宮崎などから入荷。例年彼岸需要前で例年少ない入荷の月で、今年も同様にやや少ない入荷。業務中心の販売。LA、鉄砲もオリエンタル同様に少ない入荷となりそう。天候に左右されるが、ユリ類全体で安定した販売となりそう。</p>				
洋 ら ん	実績	23年	464	61	
		24年	390	91	
		25年	424	69	
		26年	432	77	
		27年	444	77	
	5ヶ年平均		431	74	
	28年見通し		430	75	
概要	<p>高知、徳島、愛知、宮崎等、輸入物が入荷。上旬は1月下旬の低温の影響で、若干入荷は少なめに推移するだろう。中旬以降は気候も緩み、入荷量も徐々に増えてくるだろう。市況は若干の弱持合いの展開となる。</p>				
ば ら	実績	23年	691	82	
		24年	696	93	
		25年	663	87	
		26年	632	94	
		27年	610	87	
	5ヶ年平均		658	88	
	28年見通し		600	90	
概要	<p>愛知、三重、岐阜、和歌山を中心に入荷。1月中旬からの急激な冷え込みで入荷量はあまり多くない。業務中心の動きでフラワーバレンタインに期待したい。</p>				
枝 も の	実績	23年	1,500	48	
		24年	1,893	42	
		25年	1,719	42	
		26年	1,871	39	
		27年	1,732	42	
	5ヶ年平均		1,743	43	
	28年見通し		1,700	42	
概要	<p>花桃がメインとなり、促成物が入荷が多くなる。暖冬によりやや前進。中旬から下旬にかけて花桃は堅調な動きとなろう。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 力	実 績	23年	14,438	234	
		24年	11,286	192	
		25年	13,241	185	
		26年	11,479	196	
		27年	11,000	205	
	5ヶ年平均		12,289	203	
	28年見通し		13,000	177	
概要	<p>入荷量は例年並か。ポット中心の入荷になる見込み。昨年同様にスズランエリカ、ホワイトデライト等の品種が中心で、単価面では厳しい見込み。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位山梨(31.3%)、2位新潟(24.3%)、3位長野(21.1%)となっている。</p>				
プ ラ ム	実 績	23年	270,668	114	
		24年	265,746	98	
		25年	314,984	87	
		26年	288,174	89	
		27年	290,000	90	
	5ヶ年平均		285,914	95	
	28年見通し		250,000	84	
概要	<p>入荷量は減少か。今年は昨年同様に温度が高い為に、12月前半からの出荷が非常に多いので2月は早めに終了予定の見込み。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(45.0%)、2位三重(12.4%)、3位埼玉(11.5%)となっている。</p>				
チ ュ ー リ ッ プ	実 績	23年	64,271	184	
		24年	45,676	195	
		25年	39,457	159	
		26年	38,809	189	
		27年	40,200	200	
	5ヶ年平均		45,643	186	
	28年見通し		40,000	190	
概要	<p>入荷量は昨年並か。6号以上のサイズは昨年より減少で、4から5号メインでの入荷見込み。引き合いも4から5号が中心になると思われる。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(46.0%)、2位埼玉(21.7%)、3位長野(8.7%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	23年	76,930	254	
		24年	63,779	260	
		25年	75,566	228	
		26年	64,250	245	
		27年	64,000	240	
	5ヶ年平均		68,905	245	
	28年見通し		62,000	258	
概要	<p>入荷量は昨年並か。価格帯としては、5号6入@300が中心になる見込み。月末に向けて地元の卒業・卒園需要から4号の引き合いが非常に強くなるが、反面6号以上のギフト向き商品は苦戦が予想される。</p> <p>昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位埼玉(25.1%)、2位愛知(16.5%)、3位富山(8.5%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	23年	60,020	169	
		24年	52,085	154	
		25年	55,728	151	
		26年	54,656	161	
		27年	63,089	164	
	5ヶ年平均		55,298	161	
	28年見通し		63,000	159	
概要	<p>入荷量は昨年並か。花色の鮮やかな商品、新品種の引き合いが強くなる見込み。</p> <p>昨年2月の主要県の集荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜(26.2%)、2位愛知(25.5%)、3位静岡(16.1%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	23年	38,127	680	
		24年	30,768	779	
		25年	30,684	846	
		26年	30,506	866	
		27年	31,288	881	
	5ヶ年平均		32,217	808	
	28年見通し		31,000	871	
概要	<p>入荷量は昨年並か。キングアナム系統が増えてきている傾向が見受けられる。ノビル系の数量は減少すると思われる。昨年同様に固めでの出荷を意識して、早めの商品提案をお願いしたい。</p> <p>昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(58.8%)、2位岡山(12.9%)、3位静岡(8.9%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2015年)

1 輸入実績

品名	1 1 月						1 1 月 まで の 累 計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	48,788	102.4	6,745,461	106.0	138	103.5	714,705	100	88,922,077	113	124	113
トマト	686	110.6	285,361	107.0	416	96.7	6,429	101	2,551,211	99	397	98
たまねぎ	17,967	77.6	1,052,559	94.4	59	121.7	283,915	95	15,447,311	104	54	110
にんにく	1,494	99.5	371,667	133.7	249	134.3	18,804	119	4,281,920	161	228	135
ねぎ	3,887	108.9	488,254	119.3	126	109.6	52,005	111	6,614,479	133	127	120
ブロッコリー	665	65.6	178,119	81.3	268	123.9	17,462	62	4,676,260	87	268	141
結球キャベツ	2,791	457.6	91,823	530.3	33	115.9	30,231	91	1,279,484	98	42	108
にんじん・かぶ	5,154	131.0	220,614	144.1	43	110.1	65,843	102	3,856,860	123	59	121
ごぼう	4,314	121.5	278,614	151.2	65	124.4	39,090	99	2,266,840	78	58	79
えんどう	49	130.0	24,938	144.8	505	111.4	689	119	304,142	151	441	126
アスパラガス	1,098	99.3	862,938	97.1	786	97.8	8,262	84	6,133,272	106	742	125
まつたけ	82	59.8	382,813	85.5	4,671	142.9	890	97	4,997,050	102	5,613	105
しいたけ	220	80.4	84,735	84.2	385	104.8	1,954	99	762,736	101	390	102
かぼちゃ	4,211	151.8	399,321	137.8	95	90.8	93,878	113	8,667,025	129	92	115
果実(生鮮・乾燥)	122,498	106.5	25,218,125	117.9	206	110.7	1,561,132	108	308,561,166	128	198	118
バナナ	76,751	109.3	8,357,732	135.6	109	124.1	889,705	110	95,497,087	130	107	118
パイナップル	11,560	103.7	1,222,039	143.2	106	138.1	139,217	99	12,208,277	118	88	119
レモン	2,226	97.6	635,860	109.3	286	112.0	44,578	106	10,165,353	133	228	126
オレンジ	3,689	113.7	448,904	109.8	122	96.5	82,858	106	12,439,842	113	150	106
グレープフルーツ	4,001	99.9	702,832	112.6	176	112.6	90,353	95	11,019,254	111	122	117
メロン	974	85.2	141,678	87.7	146	102.8	22,471	86	2,624,563	91	117	106
ぶどう	5,391	203.3	2,001,945	226.0	371	111.2	49,786	204	16,754,214	251	337	123
キウイ	3,780	110.7	1,214,632	121.9	321	110.2	78,297	127	27,099,994	128	346	101
いちご	310	84.3	357,746	90.5	1,153	107.4	3,019	103	3,475,759	116	1,151	113
切花(生鮮・乾燥)	2,709	88.7	2,637,544	92.9	974	104.7	36,149	103	34,741,668	115	961	111
鳥獣肉類	159,443	108.9	83,812,863	103.1	526	94.7	1,773,502	107	945,440,492	112	533	105
牛肉(くず肉含む)	44,872	108.7	28,568,611	100.2	637	92.1	458,377	104	312,726,692	125	682	121
豚肉(くず肉含む)	65,645	122.8	34,772,133	115.2	530	93.8	722,886	99	389,056,101	97	538	98
鶏肉	39,023	93.4	11,172,679	84.2	286	90.1	487,847	124	146,728,957	128	301	104
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	157,194	104.2	107,773,117	100.5	686	96.5	1,543,532	114	1,062,192,463	116	688	102
まぐろ類	15,475	98.0	11,956,422	96.1	773	98.1	186,256	106	174,368,056	123	936	116
さば・さんま・あじ・いわし	19,962	110.7	3,731,192	431.6	187	389.9	79,166	146	17,088,691	136	216	93

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	6,620	109.0	2,718,724	125.3	411	114.9	33,165	170	15,213,462	183	459	108
うんしゅうみかん	800	83.5	154,589	81.9	193	98.2	2,289	109	515,274	113	225	104
りんご	5,383	112.3	2,161,883	124.1	402	110.5	25,981	198	9,935,250	211	382	106
なし	44	107.5	25,956	116.8	589	108.6	1,305	142	681,240	140	522	99
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	575,893	130.9	-	-	-	-	4,358,334	148	-	-
緑茶	345	88.8	841,041	116.3	2,435	131.0	3,610	131	8,961,613	143	2,482	109

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年平均	102.8	99.3	105.8	106.8	112.3
	27年 8月	103.9	110.0	114.8	112.1	118.6
	9月	103.9	119.9	108.2	112.8	118.3
	10月	103.9	117.1	100.9	112.9	117.3
	11月	103.5	98.2	102.7	113.3	116.8
愛 知 県	25年平均	100.3	100.3	105.6	99.9	105.6
	26年平均	103.1	100.8	112.1	108.9	110.8
	27年 8月	103.9	115.8	119.4	114.8	119.4
	9月	103.8	124.3	109.9	114.9	116.8
	10月	103.7	120.4	104.4	117.0	115.3
	11月	103.3	99.7	101.6	117.3	115.5

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
25年平均	25年平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	26年平均	102.2	98.8	97.8	93.3	118.4
	27年 8月	105.3	83.6	101.6	110.8	129.0
	9月	108.4	89.2	119.3	86.5	128.7
	10月	104.8	93.3	108.4	75.2	128.1
	11月	99.8	93.6	82.5	93.9	129.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
25年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	388	231	569	695	162	567
26年平均	2,109	170	190	661	481	321	162	376	276	581	695	162	545
27年 8月	1,855	181	259	811	559	438	205	439	344	565	614	185	-
9月	1,859	221	293	751	773	359	209	419	276	715	763	196	-
10月	1,879	267	223	715	841	309	196	401	257	590	830	182	-
11月	1,851	196	166	555	398	314	135	343	246	554	691	181	487
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(バラ)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
25年平均	581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	428
26年平均	584	336	437	174	240	824	530	166	175	336	228	825	440
27年 8月	-	321	471	-	293	917	532	185	199	336	231	951	436
9月	803	307	539	-	267	920	515	171	175	348	237	930	467
10月	591	304	475	-	266	880	521	176	173	350	243	921	460
11月	536	310	459	-	269	847	519	172	170	361	244	949	453

豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (**イート モア アイチ** プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 512
平成28年2月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421